

ひとり芝居

『なぜおれたちはフジロックに出れないのか』

古堅元貴

登場人物

岡崎現国(28)・・・自称ミュージシャン

10 岡崎現国(28)の3・5畳の自宅

暗転状態の舞台上に『ドクターX』に似ても似つかぬテーマ曲が流れ、田口トモロヲに似ても似つかぬ声のナレーターが入る。

N 「フジロック。毎年夏に山梨県富士天神山スキー場で開催されている日本最大級のロック・フェス。毎年国内外200組以上のミュージシャンが集い、過去には、レッドホットチリペッパーズ、オアシス、コールドプレイ、ボブ・ディランも参戦するなど世界的ミュージシャンも参加している。

そしてこの暗転板付き状態から照明切り替えを待っているフリーランス、いやフリーターの男。勢いと奇抜な見た目だけのバンドマンを嫌い、クソつまらないことを言ってもルックスとポジションだけで、ひな壇芸人に助けてもらえるアイドルを嫌い、自分の才能に過信し、何が起こっても時代と世間のせいだと考える事が出来るのが彼の武器だ。そんな凡人は、今年もフジロック出演を夢見ていた」

ナレーター中に照明が付き始めると、舞台上には男・岡崎現国(28)。不潔な部屋でオンラインゲームをしている。

現国「画面に向かっていけっ！そうだっ！撃て、撃てよ！そうそう。．．．いまっ！（オンライン相手に）おい何やってんだよ！「お袋の手土産」はいま使えよ！このタイミングでそのアイテム使わないとか尋常じゃないよ！ビックリ仰天、仰天ニュース、ニュース23だよ！．．．おまえ！村人全員に話しかけてる暇があつ

たら、アイテム探してこいよ！あの人！RPGに出てくる村人の9割は目の前が森なのに「この先は森じゃ」的な分かり切った忠告しかしないんだから！精査しろよ！お前みたいな集団を乱す奴が、社会の循環を悪くしてんだよ！何度も言うが、おまえらはおれの言うとおりに動けばいいの！なにが共に闘いましょうだ？戦友だ？オンラインこそ本当のコミュニティだ？おまえらはおれの駒として、おれの思うように動けばいいんだ！おれが誰よりも課金してるんだから！」

すると大爆破の音！画面からゲームオーバーの声！

現国「（それに対し）くあ嗚呼アアーーーーー！！」

と叫び、ゲーム機を投げる（投げる方向にはゲーム機専用の当てみたいなのがあり、見事真ん中に的中）。

うなだれている現国。するとスマホにツイッターの通知音。現国、スマホを見ると（舞台上にツイッター画面が照らし出され）

ツイッター画面「今年もフジ口っク出演決まりました！今年も夏より暑くしてやるぜっ！大清水飛大」

現国、スクロールすると

ツイッター画面「素敵な夏、みんなと共有したいなー#フジ口っク#アイスバケツチャレンジ カ藤ミリオネア」  
さらにスクロールすると、

ツイッター画面「Fuu！JI！ROCK！ヒアヤヤーー！

平良EDA E！」

発狂する現国！スマホを的当てに向かって投げ  
る。

現 国「あああー！くそがつ！なぜだ！なぜおれがフ  
ジロックに出れないんだ！こんなエセロッカーたち  
が出れておれが！・・・まあ今は音楽性そのものより  
も、芸能事務所や音楽団体に媚びた曲で無いと売れな  
いからな。今やレコ○ド大賞も金で買春される時代  
だ。そりゃ本物のアーティストや曲は売れないで、埋  
没されていくわけだ。

そしてそれも理解したうえで、地道にひたむきに音楽  
を続けている奴こそが本物のアーティストだ。そうい  
う奴らが夏フェス、フジロックに出るべきなんだ！だ  
から、おれは出るぞ！今はそりゃ世間と時代のせい  
で出れなくても、出てやるよ！いい曲書いてやるよ！音  
楽性で抜きんでてやるよ！レッチリもオアシスも超  
える曲書いてやるわっ！」

スマホにアラーム音。

現 国「くそつ、バイトの時間だ」

電車通過音のSEとともに、舞台上は居酒屋に  
場面転換される。

## 20 居酒屋

ホールで働いている現国。

現 国「いらっしやいませー。ようこそ居酒屋、1192年  
の宴へ！」

新規客の注文を取りに行く現国。

客(声)「(現国に)すいません。生ビール二つとあ、今グラス

の方が安いのかー。じゃあグラスビール二つと、でも  
やっぱジョッキ飲みたいし、あ、ひとつはジョッキに  
戻して、軟骨の唐揚げと卵焼き、サイコロステーキ、  
あ、焼き加減、半分はウエルダンで、もう半分はレア  
目にして。とシーザーサラダ、これレタス小さく刻ん  
じゃって、大きいと食べづらいから。あとおしぼりち  
よつと多めに持ってきてー、こいつよくこぼすから  
さーーー」

現 国 「かしこまりましたー、はいよろこんでー！」

別の客に呼ばれ向かう現国。

客(声) 「(現国に)すいませーん。さっき注文したムニエルの  
ホイル焼きキャンセルで、枝豆にしてー」

現 国 「(舌打ちし) はい、よろこんでー！」

別の客に呼ばれ向かう現国。

客(声) 「(現国に)あの一、今日15人で予約してたんですけ  
ど、何か急にみんな来れるようになったみたい  
で、40人に変更できますー？」

現 国 「・・・はい、よろこんでー」

別の客に呼ばれ向かう現国。

客(声) 「お兄ちゃん、この子お座敷で吐いちゃってさー」

現 国 「はい、よろこんでー！」

1人でホールを回していて、苛立っている現国。  
照明がピンスポになり、独白し出す現国。

現 国 「テメェらとおれの立ち位置なんて、おれがフジ口っ  
クに出るようになったら、すぐに逆転！いやそれ以上  
の差となって現れるんだからな！そしてお盆の中  
日なのに入って来たばっかの留学生と2人で店回され

るような、こんな居酒屋とつとと辞めてやるからな！」

別の客(ヤクザ)に呼ばれ向かう現国。

ヤクザ(声)「おお、兄ちゃん！ちよつと、ちよつと！！」

現国「はい、よろこんでー」

ヤクザの方へ向かう現国。

ヤクザ(声)「お兄ちゃん、フジロっク好きでしょ？」

現国「え？あ・・・、はい。そうです・・・よ。よく分かり

ましたね。アイライクフジロっク」

ヤクザ(声)「いいね。じつはさ、今度ウチの事務所でフジロ

っクの出演者オーディションやるんだけど来ない？

お兄さん才能あるからさー」

現国「え？・・・フジロっクのオーディション？」

ヤクザ(声)「そうそう」

現国「あなたたちの？・・・事務所？・・・で？」

ヤクザ(声)「そうって言うてんだろおお！」

現国「・・・え、あ・・・嘘を付かないで頂きたい！あなた

のような方々がフジロっクに関われるわけがない！」

ヤクザ(声)「古いなー。夏フェスの事を何もわかつちやいな

い！今やフェスはヤクザと蜜月関係だ。夏フェスとヤ

クザは太陽と月なんだよ」

「あくまでも主観です」のテロップ入る。

現国「(笑い出し) ははっ！いきなり居酒屋でつまみの一

つも頼まずに、フジロっクのオーディションをやって

る？そして挙げ句には、夏フェスとヤクザは太陽と月

なんて言われて、信用するわけないでしょ！フジロっ

クは何よりも健全で夢のある場所なんですよ！五反

田の路地裏よりも！日本ボクシング連盟よりも！」

ヤクザ(声)「兄ちゃん。自分の夢や目標の場所は、何があってもきれいな世界だと信じることは大切だ。でもな、目の前に提示された事実を一つずつ受け止める事も大切だ」

現国「は？じゃあ受け止められるようなリアリズムのある事実を僕に、ここで教えて下さいよ！」

ヤクザ(声)「・・・わかった。君が受け止められるリアリズムを教えてあげよう。このオーディション、審査員として・・・大友康平さん来るよ」

驚愕する現国。

現国「・・・HOUND DOGですか？」

ヤクザ(声)「それ以外の大友康平っているか？」

現国「・・・いないです」

SEとともに、舞台転換。ヤクザ事務所に転換されていく。

3〇 ヤクザ事務所・オーディション会場

現国、舞台中央にマイクを持ち立っている。

渡辺美里さんの『My Revolution』

に似ても似つかぬ曲のイントロが流れ、歌い始める現国。サビの途中でヤクザが止める。

ヤクザ(声)「はいはい、もう大丈夫。ありがとう」

現国「・・・あの、まだこっからなんですけど」

ヤクザ(声)「いや、もう分かったから十分だよー。これピッチとか、歌詞を名古屋弁にしてるけど渡辺美里のマイレボリューションだよー」

現国「・・・まだ納得いく曲が作れなくて・・・」



ヤクザ(声)「まず1曲作ろうよ。どんなに時間かかってもさ。

最初の1曲作る苦しさから逃げてたら、いつまでも夢だけはガストで場違いなボリユームで語ってる30代になっちゃうよ」

現国、逃げるように辺りを見渡して

現国「・・・あの、えっと・・・大友康平さんは？」

ヤクザ(声)「大友さんは急ぎよ、TBSでのプレバトの収録が入って、来れなくなった」

現国「そうなんですネ・・・」

ヤクザ(声)「聞こう。なぜ君はフジロックに出たい？」

現国「フジロックに出る事が、昔からの夢だからです！」

ヤクザ(声)「夢ね・・・。他にも色んなフェスはある。ロックインジャパン、サマーソニック、浅草サンバカーニバル。その中でなぜフジロックに出たいんだ？」

現国「それは・・・なんというか・・・自分の夢がフジロックに出たいってことだからですっ！」

ヤクザ(声)「さっきと同じこと言ってるよ！ガラスの灰皿で殴るよ？聞きたいのはね、君のフジロックに出たいという想いを、私たちにも分かる君の言葉で教えてほしいってことなんだよ！」

現国「いや・・・人には良く言えないけど、自分の中にある熱いものってあるじゃないですか。」

ヤクザ(声)「あのさ・・・まあいいや。教えとくよ。言葉に出来ないってことは、気持ちがないって事と同じだから」

現国「・・・は？何言ってるんすか・・・。おれにはありますよ！誰よりもフジロックに出たい気持ちがある！」

ヤクザ(声)「ふっ、君みたいな奴って腐るほどいるんだよ。

気持ちはあるけど、言葉や行動では表せないんですって奴。そういう奴ってスタートだけして、即自分に妥協して、辞める時には周囲や環境のせい。堅気になりたいて言ってるくせに、何も変わろうとしていないヤクザと一緒だ」

現国「・・・中途半端じゃない・・・妥協もしてない。おれは・・・ミュージシャンだ！！堅気にならないヤクザと一緒にするなっ！」

ヤクザたちの怒号のSEが入り、

ヤクザ(声)「君はフジロックじゃなくていいだよ！出ればロッキンでもサマソニでも浅草サンバカーニバルでも！ただ売れて、有名になればどこでもいいんだよ！だって君からは見えないもん！フジロックしかないんですっていう想いが！そりゃあそうだわ、君は規模やネームバリューだけでフジロックに出たいだけだもんね！」

現国「ちがう！俺は・・・俺には・・・」

ヤクザ(声)「あと君さ、勘違いしてない？ここはフジロックのオーディション。別のフェスと勘違いしてない？」

現国「え・・・」

現国、事務所内を見渡すと、至る所にフジロックではなく、フジロ(くち)ックオーディション会場と書かれている事に気づく。

現国「フジロック？いや、俺が出たいのはフジロック？いや違う！フジロック！・・・なんで？何度口に出してもフジロックになっちゃおう・・・。俺の夢はフジロ

つく・・・なんで言えないんだ？頭ではフジ口つ・・・  
クソおお！」

ヤクザ(声)「外面でしか見てないから、そんな事にも気づかないんだよ」

現国「う、う・・・あ、ああ、ああ嗚呼アアぐぎぎ  
うああうああヤヤやアア亜！！！」

現国の叫びと共に、舞台転換される。

#### 4〇 岡崎現国(28)の3・5畳の自宅

放心状態の現国。スマホに通知音。現国、放心  
状態でスマホを確認すると、オーディション結  
果メールだ。ナレーションで読み上げる。

N 「先日はフジ口つくボーカルバトルオーディションにご  
参加下さって、頂きなすって、ありがとうございます。  
貴殿殿は審査に通過為されなすった参ったので、最終  
審査のご案内を致候。つきましては参加費800ユー  
ロをバーコード決済で自宅から遠方のコンビニへお  
支払い下さい」

現国、スマホを室内の特製的当てに投げつける。  
すると、ゲーム機や食器や光熱費の払い込み用  
紙など、部屋内のものを次々投げつける。

現国の前には、何も置かれていない状態。ノー  
トとボールペンを持つてくる。

歌詞を書き始める現国。

書き終わると、舞台中央にスタンドマイクを持  
つてきて、握る。なぜか音楽が流れ始め、歌い  
はじめる。

『なぜおれたちはフジロックに出れないのか』

♪

帰省する時じいちゃん言うぜ 夢は叶うと

ずっと持ってた 何年もフジロックに出る事

終電逃した携帯壊れた 安室のチケット取れなかった

それでも願ってた

イタ電されたアブに刺された 小室ファミリーになれ

なかった

それでも願ってた

諦めかけた何回も それでもこれしかない俺

自問自答 疑問持とう 何度も思うわ

なぜおれたちはフジロックに出れないのか

ああ なぜ出れないのか

想いはずっとある いっだって考えてる

辛いときは寝ればいい 苦しいとき逃げればいい

それでも出れないんだ フジロックは

フェス好きの奴は苦手

出てるアーティスト良く知らない

洋楽聞かないけど出たい

野外よりアリーナ派だけ出たい

サマソニよりも規模デカそうだから出たい

出たらモテそう テレビ呼ばれそう

六本木でタレントとワイワイ出来そう

なぜおれたちはフジロックに出れないのか

ああなぜ出れないのか

やるべきことはやってる 悔しい思いもしている

なぜフジロックに出たい どうしてそんなにしたい

そもそも行った事ない フジロックは

歌い終わる現国。ピンスポが当たる。

現国「俺はこの1曲を作って音楽を辞めた。そうして働いていた居酒屋・1192年の宴で正社員として働き始めた。

少しだけ心を入れ替えて働いたら、店長や学生バイトたちとも距離が縮まり、楽しい日が増えた。皆でシフトを助け合った。

その後、俺は店長になり、さらにエリアマネージャーとなり、隣のエリアマネージャーと経営方針を話すうちに意気投合し、結婚した。

今では、子供は中学生となり、今年家族揃ってフジロックに参戦した。家族皆、初めてのフジロックだった。その日のヘッドライナーがあるアーティストだったのだが、ある曲で妻が涙を流していた。うれし涙だった。その時、昔の色々が蘇った。そして思ったことがあった。『妻のこの顔をまた見たい』。

俺は再びフジロックを目指すために、音楽を始めることにした」

おわり